

2015-15-1

## ショウジョウコウカンチョウの皮膚

提出機関: ミネソタ大学

患畜: ショウジョウコウカンチョウ 2歳 雄  
(*Cardinalis cardinalis*)



鳥の図鑑HPより引用

病歴: 野生にて捕獲したショウジョウコウカンチョウの総排泄腔部の皮下に痂皮のある大きな腫瘤、削瘦。安楽死後に剖検し、組織学的検査へ。



うどん県

検索

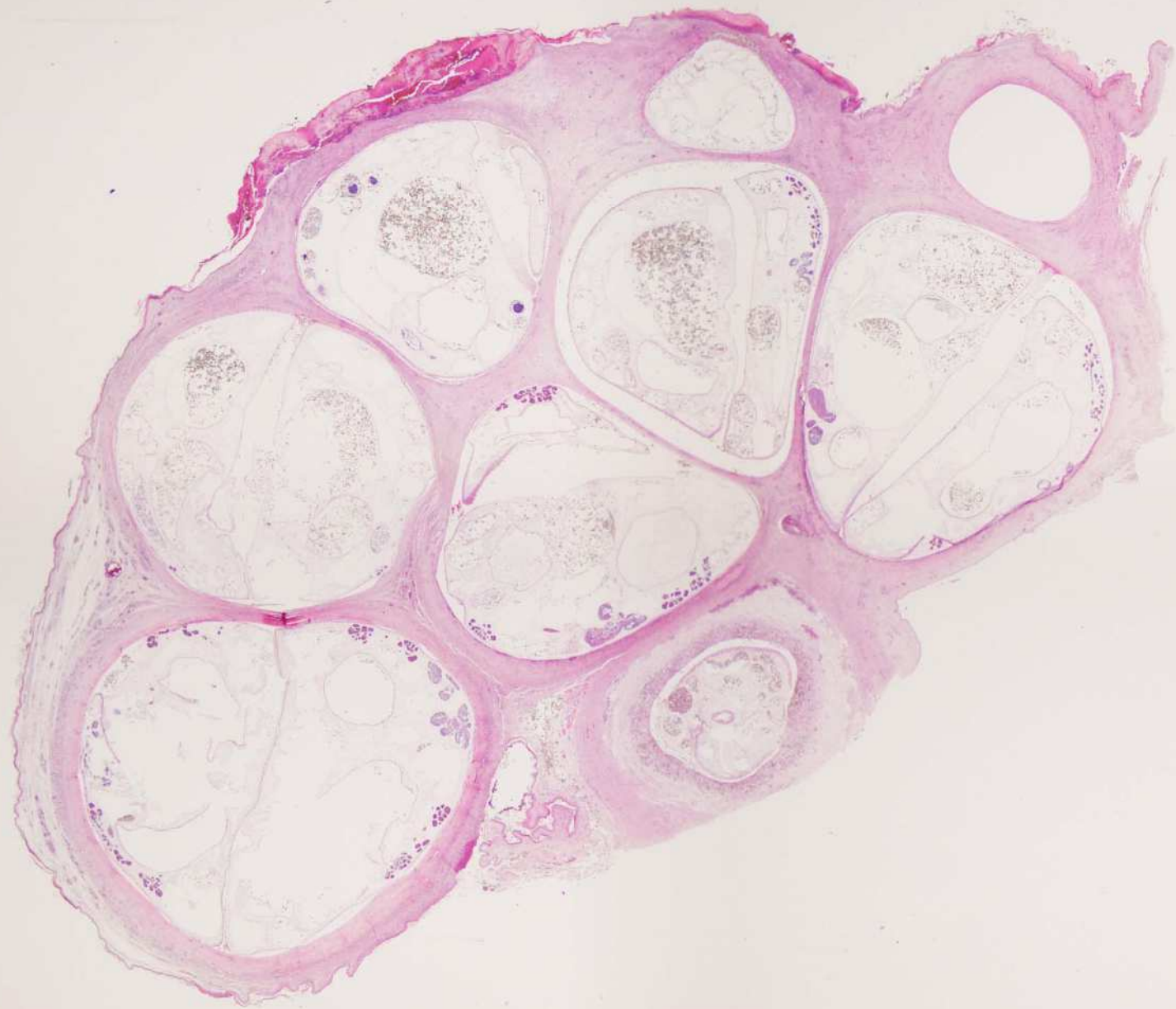


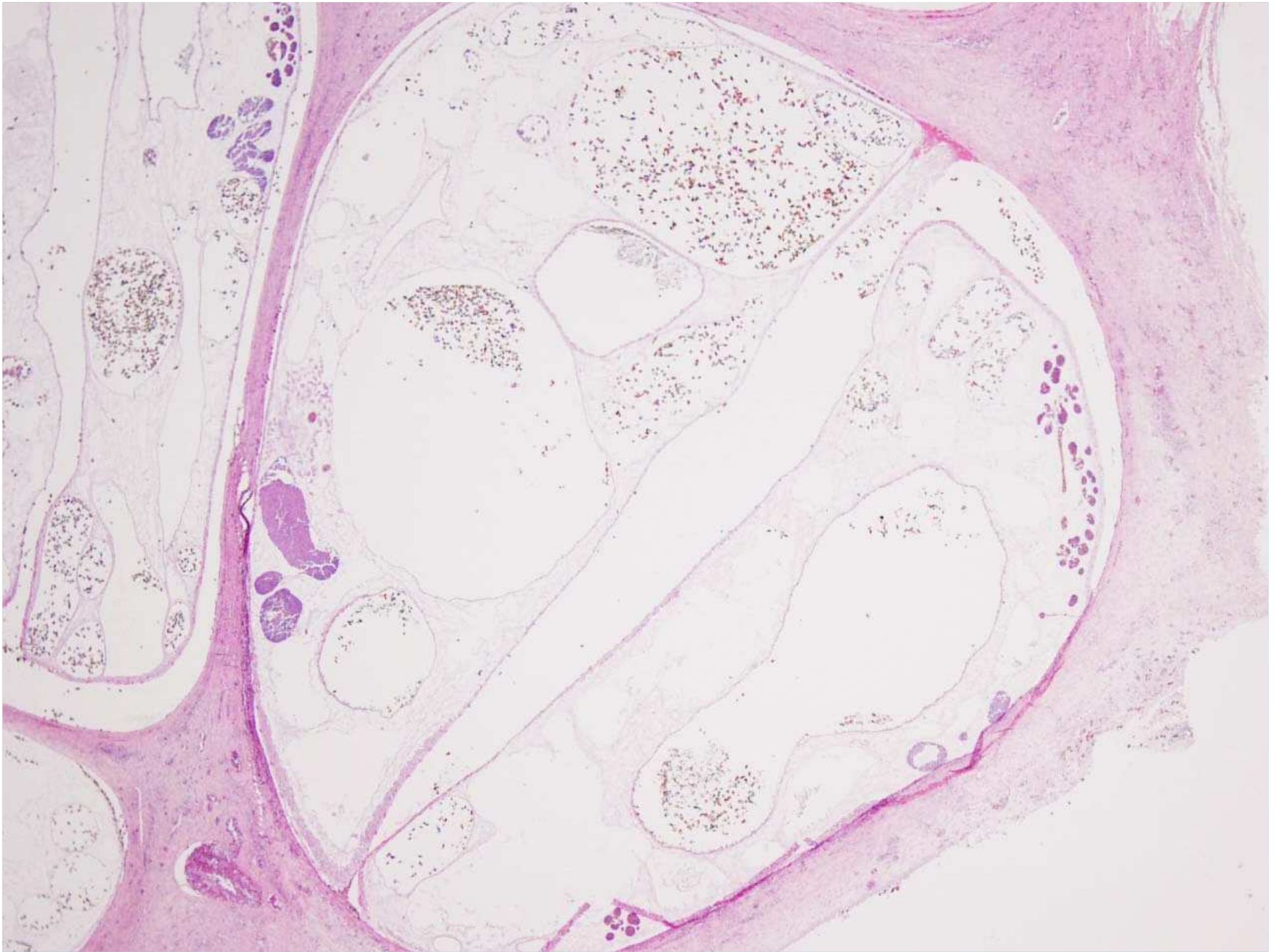
肉眼所見：痂皮のある大きな腫瘍は一部が総排泄腔背側部の皮膚、皮下組織に存在。やわらかく茶褐色の無定形な物質を含む複数の小さな（直径6mm以下）嚢胞性構造より成る。嚢胞内には1～2個の明るい灰～褐色で腹側面が凹面の卵型吸虫を含む。吸虫は長さ4-6mm × 直径4-6mmで、顕著な卵黄腺と大きな回旋状の白から褐色の子宮を持つことが特徴。

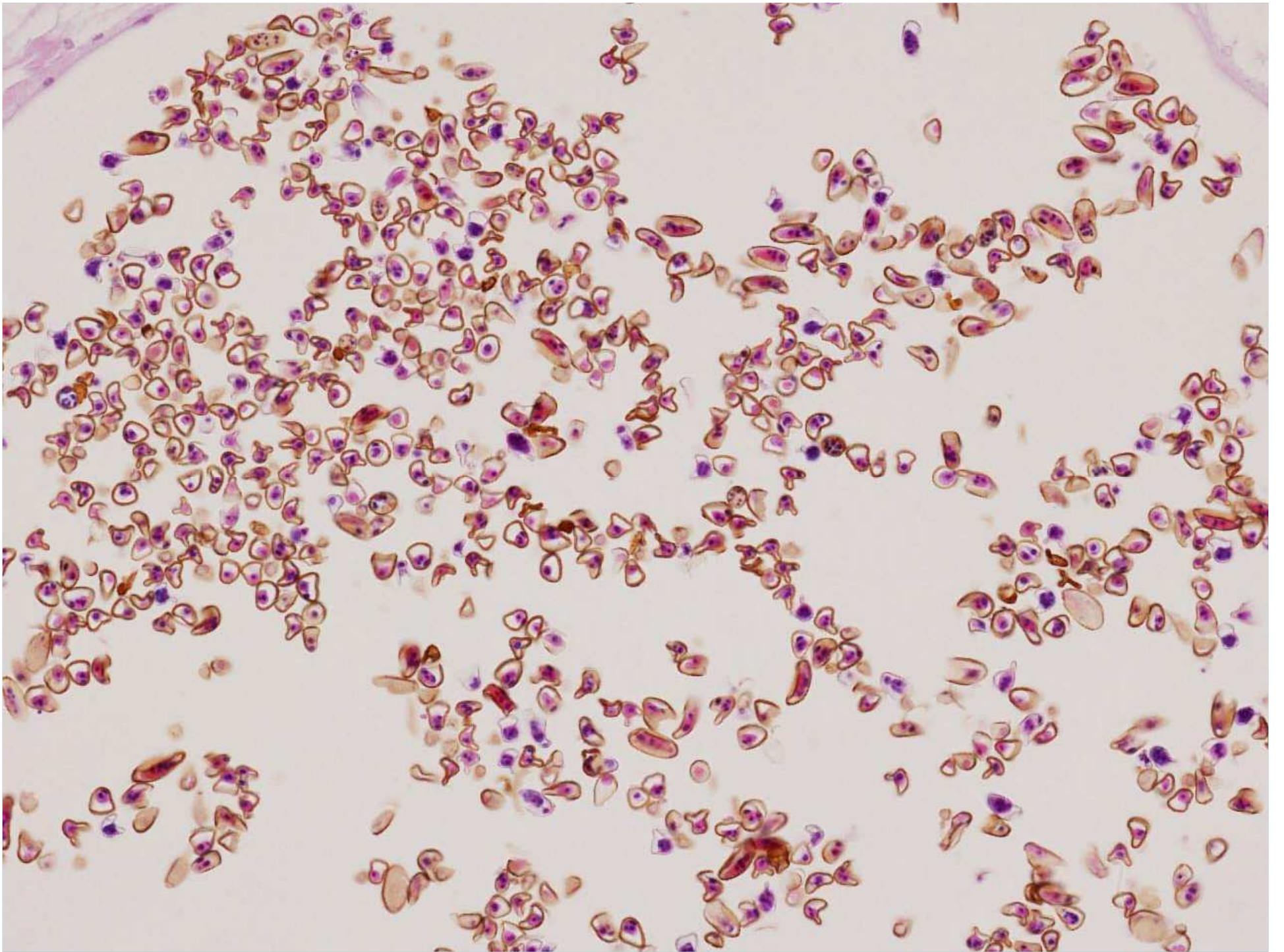
その他 肉眼病変なし。

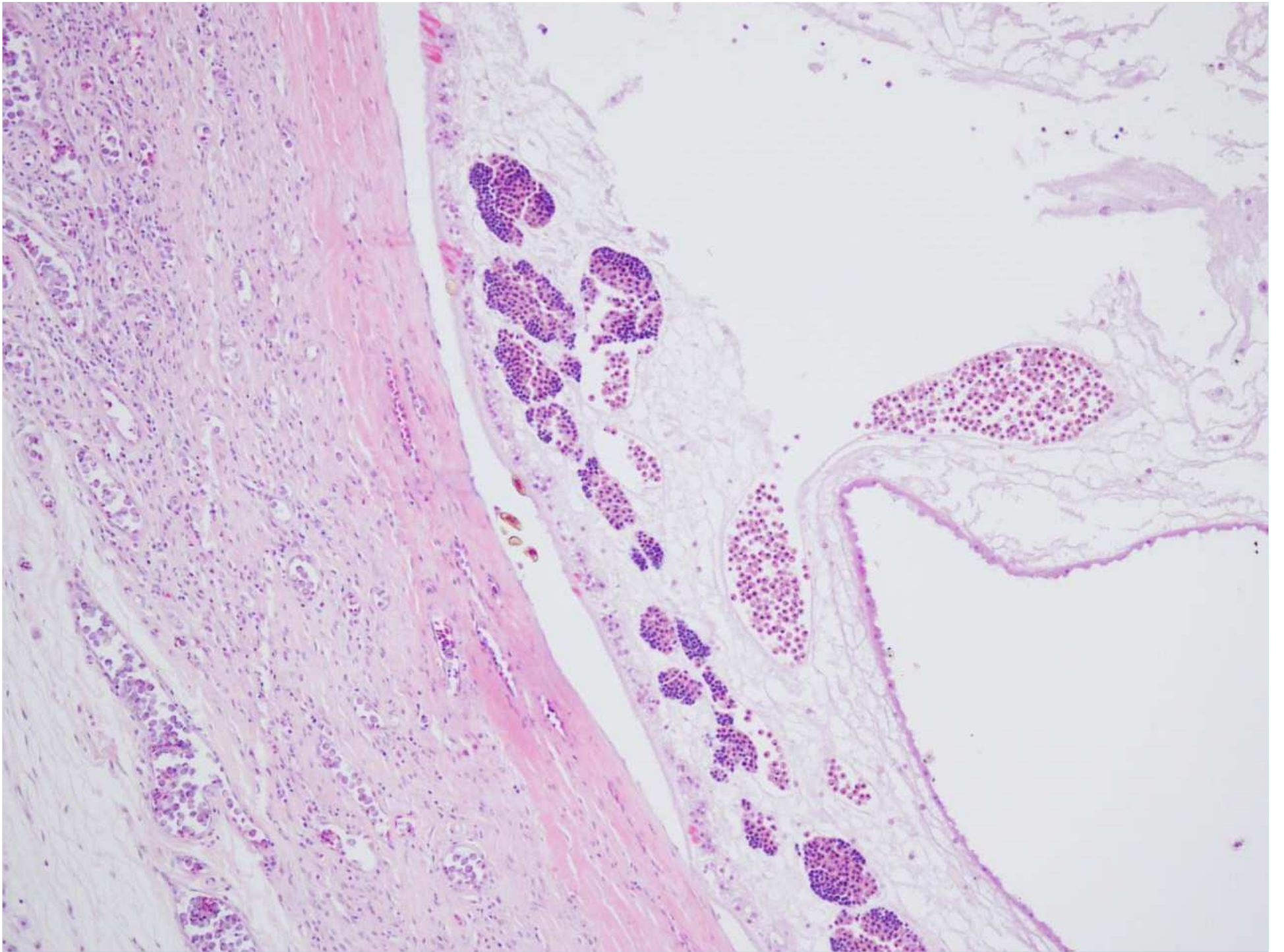
検査結果：偽嚢胞内から抽出した吸虫を *Collyriclum faba* と同定。



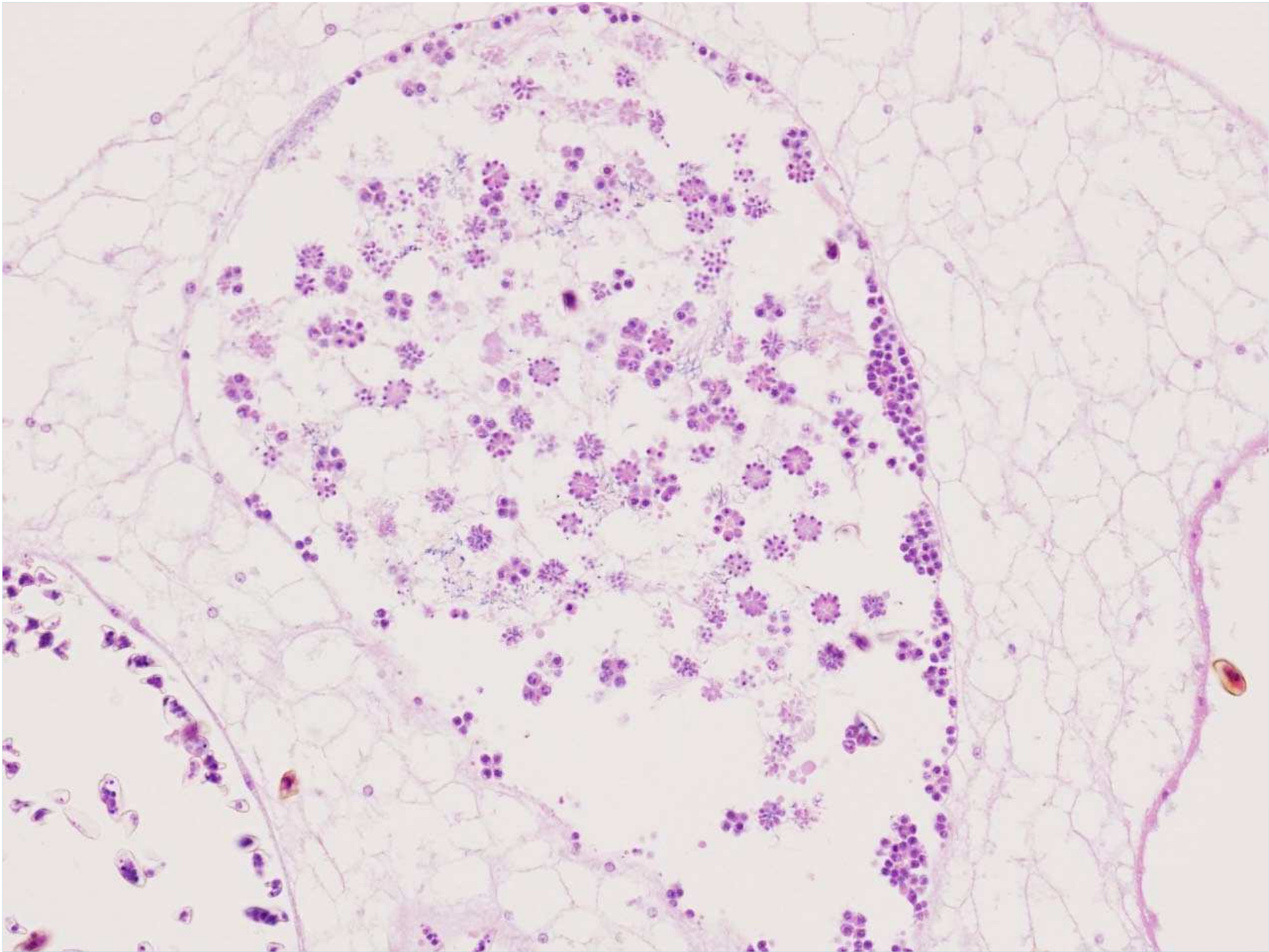


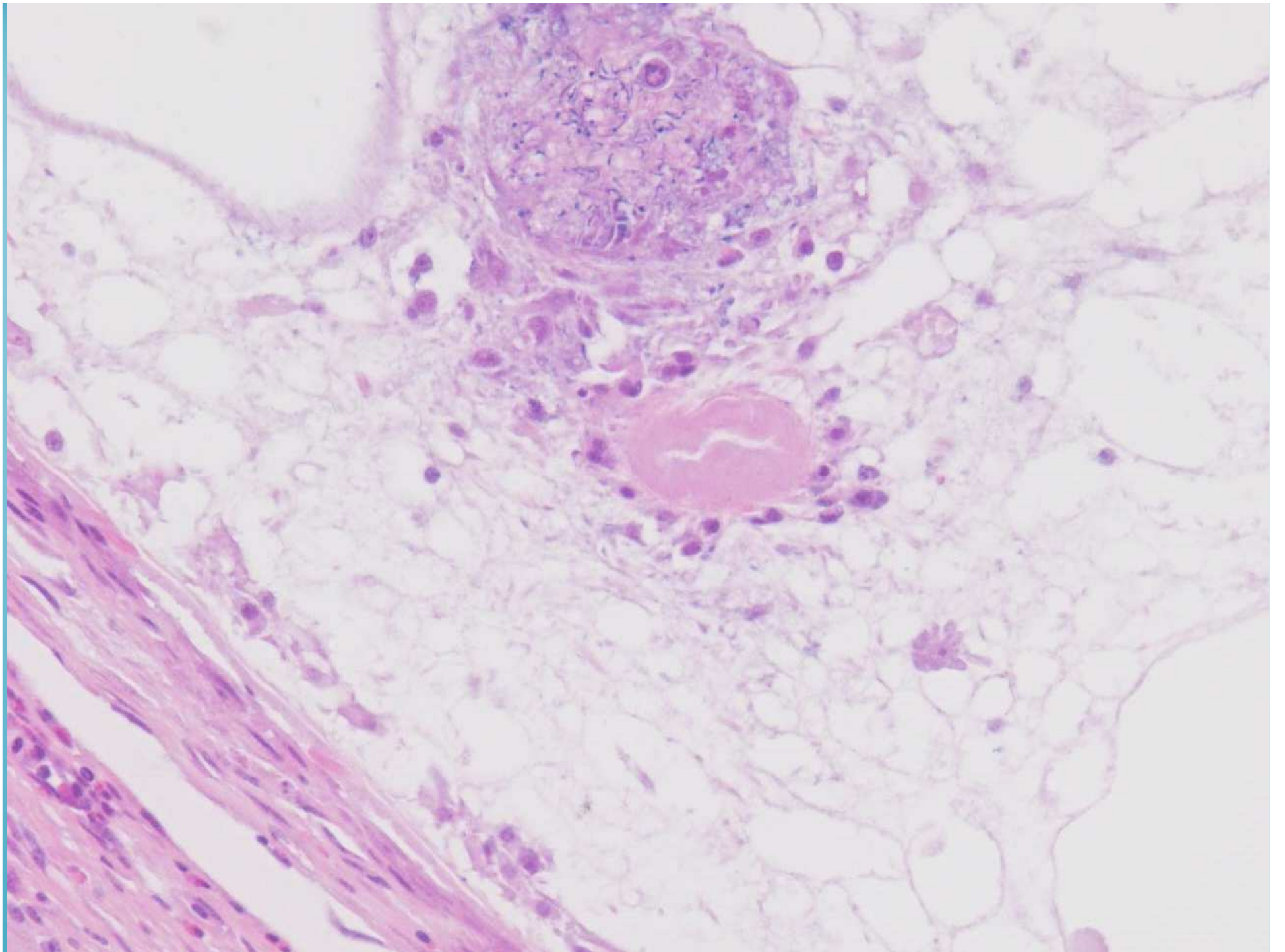


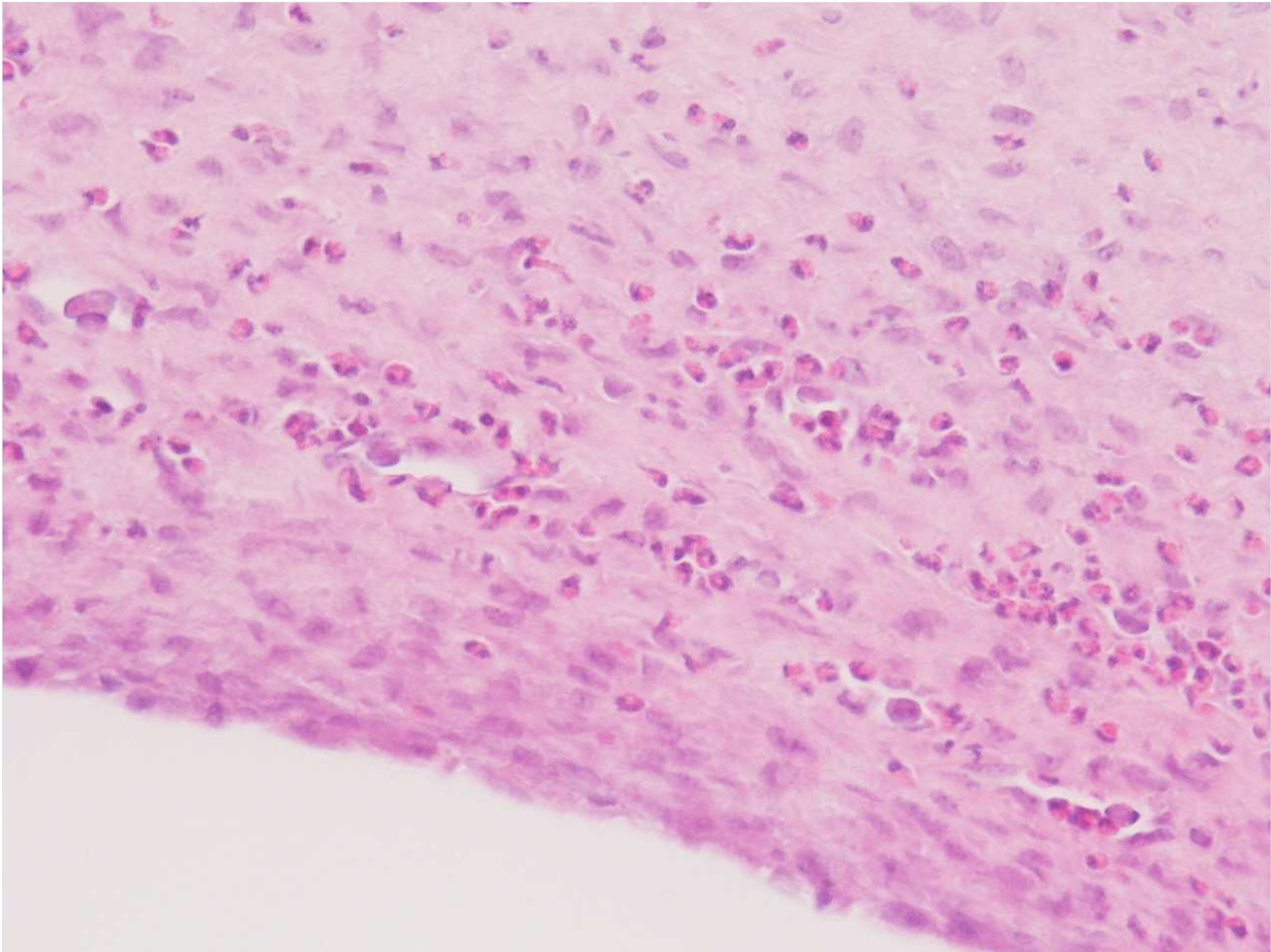


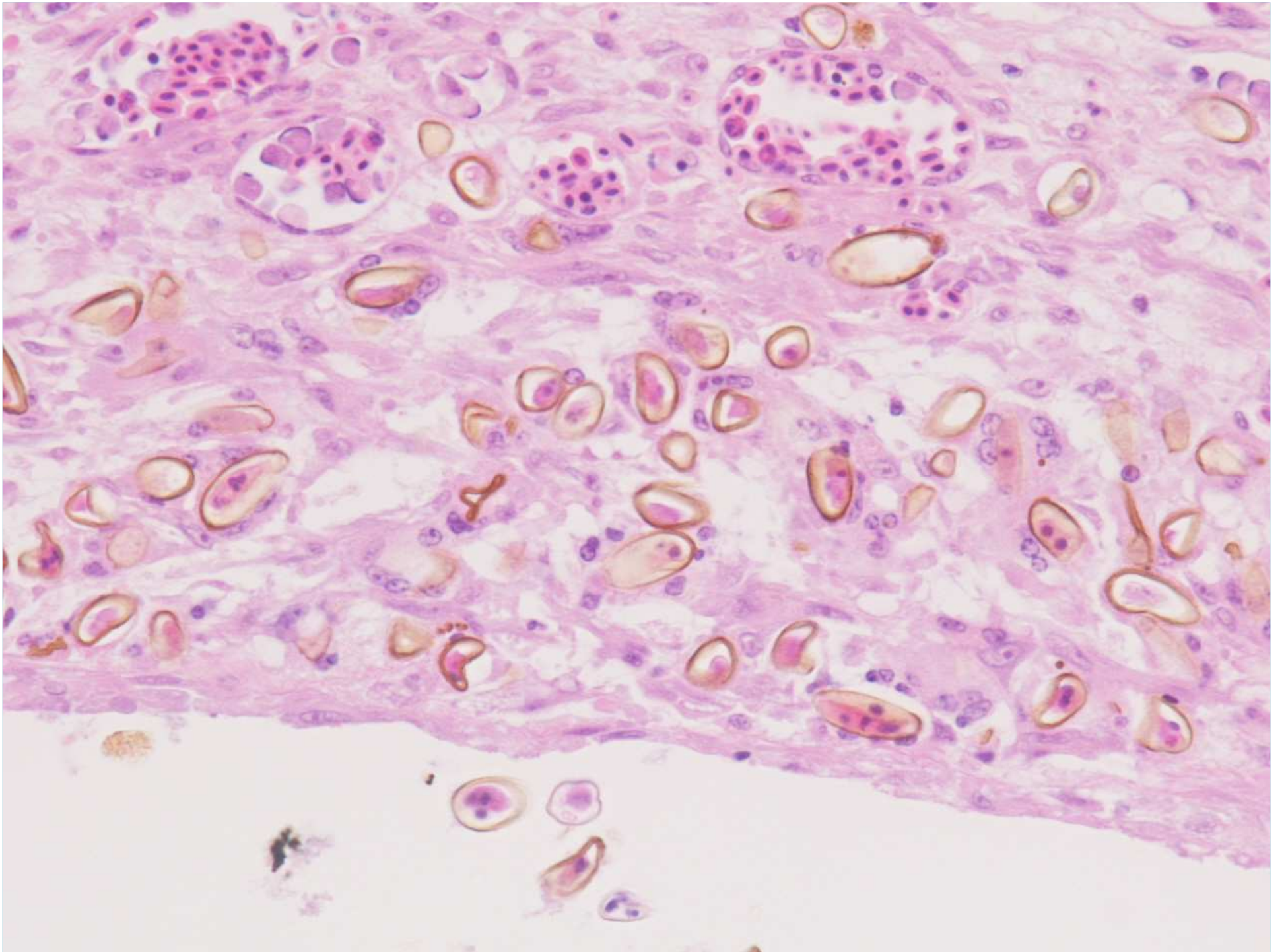


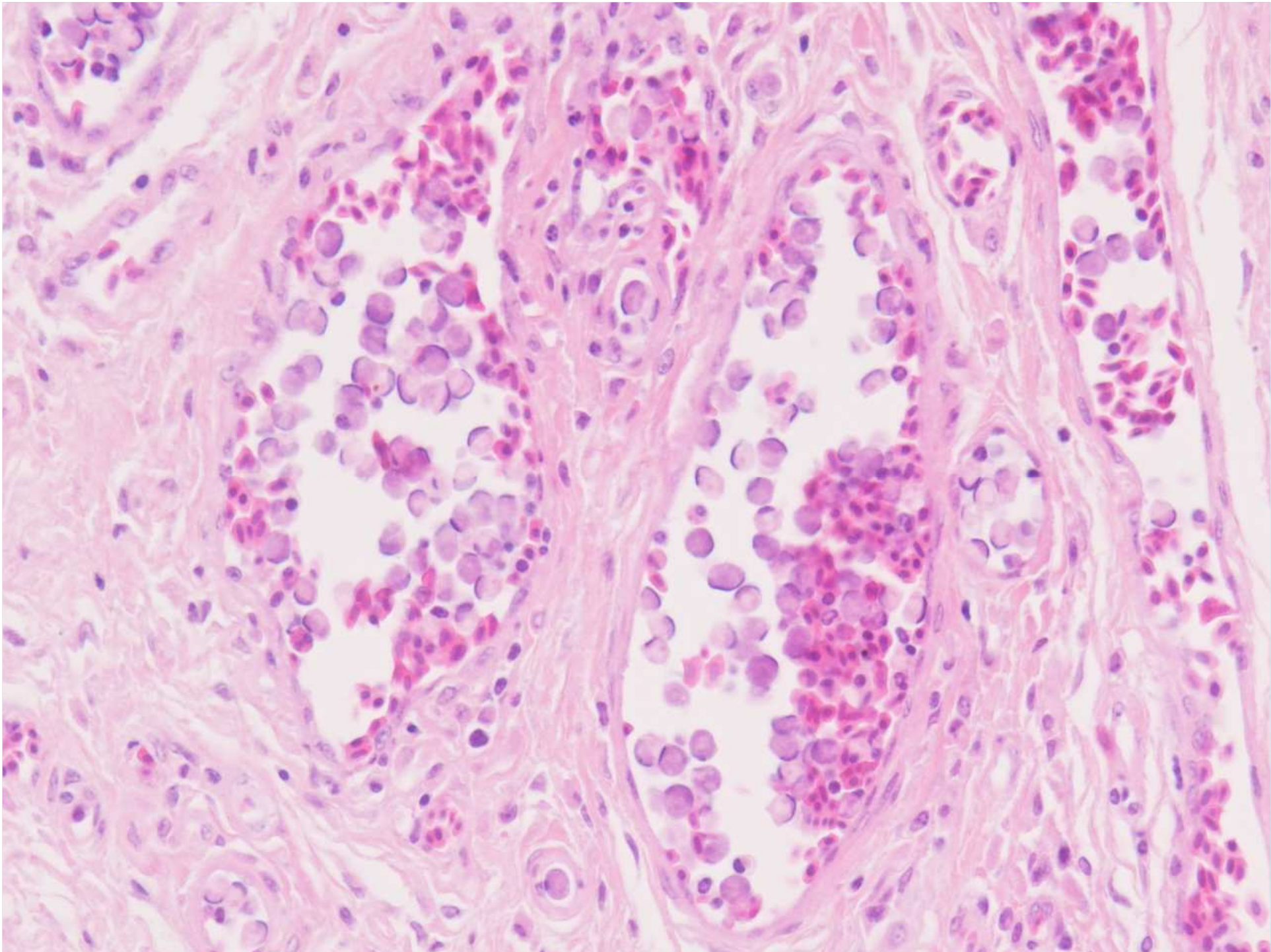












## 提出者の診断

1)皮膚および皮下組織(総排泄腔背側部分):寄生虫の偽嚢胞、多病巣性の、潰瘍性および顆粒球性皮膚炎と病巣内の吸虫成虫、吸虫卵を伴った、病因は *Collyriclum faba*と一致

2)骨格筋:住肉胞子虫症、軽度

3)原虫による寄生虫血症、顕著な

1) Skin and subcutis (dorsal cloacal region):Parasitic pseudocysts, multifocal, with ulcerative and granulocytic dermatitis and intralesional mature adult flukes and fluke ova, etiology consistent with *Collyriclum faba*

2) Skeletal muscle: Sarcocystosis, mild

3) Protozoal parasitemia, marked

## JPCの診断

1 無毛の皮膚:多発性の吸虫偽嚢胞、軽度の偽好酸球性、肉芽腫性皮膚炎を伴う

2 骨格筋:サルコシスト、多発性の(いくつかの切片で)

3 循環赤血球:細胞質内の原虫

1. Glabrous skin: Multiple trematode pseudocysts with mild heterophilic and granulomatous dermatitis.

2. Skeletal muscle: Sarcocysts, multiple(some sections).

3. Circulating erythrocytes: Intracytoplasmic protozoa.

## 提出者のコメント

*Collyriclum faba*について

- ・ユーラシア、北・南米大陸のスズメ目、キジ目にまれに感染
- ・成虫は主に総排泄腔周囲の皮膚、皮下組織に寄生
- ・成虫が一对に並んだ被包性の偽嚢胞を形成
- ・多くの吸虫と異なり腹側末端付近よりむしろ背側に口吸盤
- ・二股の腸、顕著な卵黄腺、コイル状の子宮
- ・生活環は完全に分かっていないが、中間宿主として推定される巻貝やトンボに寄生しているメタセルカリアを経口摂取することで感染すると考えられる。
- ・吸虫卵は鳥類が水に浸かった際に、皮膚の偽嚢胞の穴から放出されると考えられる。

## 会議のコメント

### *Collyriclum fabal*について

- ・第一中間宿主は小型淡水巻貝、第2中間宿主はカゲロウ
- ・嚢胞数が少ない場合臨床症状なし。重度寄生になると貧血や削瘦、排便困難を呈して死に至る。

### 骨格筋で見られたサルコシストについて

- ・*Sarcocystis spp.*は様々な哺乳類と鳥類で偶発的に認められる。
- ・感染性スポロシストが終宿主の糞便中に排出され、中間宿主がそれを経口摂取すると無性生殖を行い骨格筋内でシストを形成する。

### 住血胞子虫について

- ・今回のケースでは住血胞子虫属を特定することは困難 (*Plasmodium*、*Haemoproteus*、*Leucocytozoon*?)